
第34回 頭頸部放射線研究会 第34回 胸部放射線研究会 東京部会プログラム

- 日時：平成17年12月17日(土) 14:00~18:10
- 会場：パークタワーホール（新宿パークタワー3F）
東京都新宿区西新宿3-7-1 電話 03-5322-6633
(注：交通案内図は裏面を参照下さい)
※会場整理費として当日1,000円いただきます。

◎頭頸部放射線研究会東京部会

代表世話人：黒崎喜久(順天堂大) 辰野 聡(東京歯科大市川総合病院) 山田恵子(癌研有明病院)
世話人：浮洲龍太郎(昭和大横浜市北部病院) 尾尻博也(東京慈恵会医大)
栗原宜子*(東京厚生年金病院) 酒井 修(ボストン大)
鈴木恵子(東京女子医大) 塚本 浩(静岡市立清水病院)
顧問：多田信平

◎胸部放射線研究会東京部会

代表世話人：佐藤雅史(日本医大第二病院)
世話人：荒川浩明(獨協医大) 氏田万寿夫*(東京慈恵会医大)
榎橋民生(昭和大横浜市北部病院) 楠本昌彦(国立がんセンター中央病院)
栗原泰之(聖マリアンナ医大) 甲田英一(東邦大学大橋病院)
酒井文和(都立駒込病院) 中島康雄(聖マリアンナ医大) 南 学(筑波大)
横山健一(杏林大)
顧問：土井 修, 蜂屋順一

*は第34回当番世話人です。

演者へのお願い

- ◆原稿の読み上げはご遠慮ください。発表はPCを使用します。基本はデータの持ち込み(USBメモリーステック, CD)としますが、データのコピーなど不都合が生ずる場合およびMacの場合、ご自身のパソコンをご持参下さい。

共催 頭頸部放射線研究会東京部会
胸部放射線研究会東京部会
田辺製薬株式会社, 栄研化学株式会社

事務局：〒355-0055 東松山市松風台4-62
TEL 0493-35-3305 FAX 0493-35-4587
E-mail: ky2s-ntsm@asahi-net.or.jp

第34回頭頸部放射線研究会東京部会プログラム (14:00~16:00)

■一般演題 I (14:00~14:32) (発表5分, 討論3分) 座長: 辰野 聡 (東京歯科大学市川総合病院)

1. 下顎神経耳介側頭枝に沿う神経周囲進展

東京慈恵会医科大学 放射線科 米国フロリダ大学 放射線科神経放射線部¹⁾
尾尻博也, 福田国彦, Schmalfluss IM¹⁾, Mancuso AA¹⁾

要旨: 頭頸部領域悪性腫瘍における神経周囲進展の評価は治療計画において重要である。下顎神経耳介側頭枝に沿う神経周囲進展を示した自験例2例の画像所見, 臨床的事項とともに文献的考察を行い, 報告する。

2. 頭蓋底を介し副鼻腔及び頭蓋内に巨大腫瘤を形成した未分化癌の1例

昭和大学横浜市北部病院 放射線科 同耳鼻咽喉科¹⁾

稲葉基之¹⁾, 浮洲龍太郎, 薄井庸孝, 田中絵里子, 鈴木美奈子, 藤澤英文, 武中泰樹, 本谷廣栄, 柳橋民生, 徳丸岳志¹⁾, 石田 良¹⁾, 門倉義幸¹⁾

要旨: 50歳代, 男性。鼻出血。MRIで副鼻腔と頭蓋内に分布する腫瘤がみられた。信号強度は大脳灰白質と同等で, 不均一な造影効果を示した。嗅神経芽腫, 神経鞘腫などが考えられたが, 病理組織診断は未分化癌であった。

3. 乳癌眼窩転移の画像診断

癌研究会明病院 画像診断部・超音波検査部

田中宏子, 河野 敦, 井上秀昭, 遠藤寛子, 藤原良将, 松枝 清, 五味直哉, 山田恵子

要旨: 眼球転移に比べ眼窩転移の頻度は低いとされてきたが, MR・CTの使用によりその発見率は向上している。乳癌の眼窩転移5例につきMR画像所見を検討し, 文献的考察とともに報告する。

4. nasal dermal sinus cystの1例

聖マリアンナ医科大学 放射線医学教室

山下寛高, 中村尚生, 今西好正, 小林 憲, 中地俊介, 中島康雄

要旨: 症例6歳男児。鼻汁を主訴に来院。単純写真にて頭蓋内進展を伴った鼻腔内腫瘤を疑われCTにて診断された。まれなMeningoceleであるnasal dermal sinus cystの1例を経験したので若干の文献的考察を加え報告する。

■一般演題 II (14:32~15:04) (発表5分, 討論3分)

座長: 塚本 浩 (静岡市立清水病院)

5. 右頬粘膜下腫瘤および開口障害の精査を契機に診断されたサルコイドーシスの1例

自治医科大学 放射線科 同口腔外科¹⁾ 同病理診断部²⁾

藤田晃史, 大竹悠子, 島田和佳, 歌野健一, 吉田慶之, 小林 茂, 中田 学, 山元龍哉, 篠崎健史, 杉本英治, 池田 薫¹⁾, 神部芳則¹⁾, 金井信行²⁾

要旨: 54歳, 女性。右頬粘膜下腫瘤を数ヶ月前より自覚し, その後開口障害も出現して来院。MRIでは右頬粘膜下の腫瘤以外に多発する筋肉の異常信号を認めた。生検および全身の検索でサルコイドーシスと診断された。

6. 伝染性単核症の2例: 頸部CT所見

順天堂大学医学部 放射線科

久津屋直樹, 舟津智一, 鈴木一廣, 高田維茂, 白石昭彦, 黒崎喜久

要旨: 抗生剤が無効な発熱と咽頭痛を呈した23歳女性と12歳女性。造影CTにて縞状の扁桃・アデノイド腫大, 頸部リンパ節腫大があった。最終的に血液検査にて伝染性単核症と診断された。伝染性単核症が臨床的に疑われていない場合には, これらのCT所見があれば伝染性単核症を鑑別診断に含めるべきである。

7. 初診時から外側咽頭後リンパ節転移を生じた口腔底癌の1例

昭和大学歯学部 歯科放射線学教室

木村幸紀, 花澤智美, 岡野友宏

要旨: 左側口腔底癌(T2)の初診時CTで右側外側咽頭後リンパ節腫大をみた。原発巣切除時の右側上頸部郭清では病理組織学的にリンパ節転移なし。しかし, 他院での再頸部郭清で右中頸部リンパ節に小転移巣が確認された。

8. Pendred症候群の1例—画像診断と臨床経過—

旭川医科大学 放射線科 同小児科¹⁾

佐藤宏朗, 長沢研一, 高橋康二, 稲岡 努, 八巻利弘, 油野民雄, 伊藤善也¹⁾

要旨: 症例は成人女性。幼児期に言語発達遅延で小児科受診, 先天性難聴と診断。思春期に甲状腺腫大認め, 甲状腺シンチグラム過塩素酸放出試験でヨード有機化障害と判断。側頭骨CTで前庭水管拡張, Mondini型奇形を両側に認めた。

●教育講演 (15:15~16:00)

座長: 栗原宜子 (東京厚生年金病院)

「内耳の画像診断; 基本から“おたくな世界”まで」

長縄慎二先生 (名古屋大学大学院医学系研究科量子医学分野 助教授)

第34回胸部放射線研究会東京部会プログラム (16:15~18:10)

●特別講演 (16:15~17:00)

座長：氏田万寿夫 (東京慈恵会医科大学)

「Radiation-induced lung disease : radiologic appearances and differential diagnosis」

Yo Won Choi, MD (Professor of Thoracic Radiology, Hanyang University Hospital, Korea)

■一般演題 I (17:00~17:32) (発表5分, 討論3分)

座長：横山健一 (杏林大学)

1. 放射線治療照射野がspareされたカリニ肺炎の1例

旭川医科大学・放射線科

長沢研一, 高橋康二, 峯田昌之, 山田有則, 稲岡 努, 平沼初音, 八巻利弘, 佐藤宏明, 油野民雄

要旨：75歳男性。食道癌で放射線治療後に臨床上カリニ肺炎が疑われた。CTでは右肺にすりガラス状変化を認めたが照射部に病変はみられずその境界は明瞭であった。照射部の線維化が原虫の成長を妨げるためと推測される。

2. 肺癌と鑑別が困難であった肺ヒストプラズマ症の1例

埼玉県立循環器・呼吸器病センター・放射線科 同呼吸器内科¹⁾ 同病理科²⁾

杉浦弘明, 叶内 哲, 松本寛子, 星 俊子, 高柳 昇¹⁾, 河端美則²⁾

要旨：症例は49歳男性。健診にて胸部異常陰影を指摘された。左下葉に小結節を認め、播種巣、縦隔リンパ節腫大を伴い、原発性肺癌(T4N2)と診断した。開胸肺生検が施行され、ヒストプラズマ症と診断された。

3. Coccidioidomycosisの1例

蒲原総合病院・放射線科 市立甲府病院・放射線科¹⁾ 山梨大学・放射線科²⁾

松本敬子, 加藤 聡¹⁾, 斉藤彰俊²⁾, 南部敦史²⁾, 荒木 力²⁾

要旨：症例は52歳男性。2005年5月、検診で左下肺腫瘤影を指摘された。左胸膜腫瘍を疑われope施行したところ診断はcoccidioidomycosisだった。症例について若干の文献的考察を加えて発表する。

4. 胸部CTにて多発浸潤影の像を呈したMALT-omaの1例

埼玉医科大学総合医療センター・放射線科

岡田武倫, 渡部 涉, 本田憲業

要旨：症例は75歳男性。胸部CTにて左下葉に多発性の浸潤影が認められた症例で、前医でのTBLBの結果は非乾酪性肉芽腫様変化であった。進行が急速で、両側肺野に多発性の浸潤影が出現したためVATSを施行したところB-cell lymphomaであった。

■一般演題 II (17:37~18:09) (発表5分, 討論3分)

座長：佐藤雅史 (日本医大第二病院)

5. 後縦隔に発生した粘液性嚢胞腺癌の1例

昭和大学横浜市北部病院・放射線科 同呼吸器センター¹⁾ 同病理科²⁾

田中絵里子, 藤澤英文, 薄井庸孝, 稲葉基之, 鈴木美奈子, 馳澤憲二, 浮洲龍太郎, 武中泰樹, 倉下 雄, 榎橋民生, 神尾義人¹⁾, 北見明彦¹⁾, 中島宏昭¹⁾, 斎藤光次²⁾, 塩川 章²⁾

要旨：40歳代女性。主訴は乾性咳漱。画像上、横隔膜直上の後縦隔に石灰化と不整な壁を有する嚢胞性病変が見られた。手術後の病理組織像で粘液性嚢胞腺癌と診断された。後縦隔の粘液性嚢胞腺癌は稀であり、若干の文献的考察を加えて報告する。

6. 縮小傾向を示した胸腺腫の2例

日本医科大学第二病院・放射線科

金城忠志, 佐藤雅史, 山本 彰, 梶原景子, 阿部和也

要旨：30歳女性、健診で右肺門縦隔陰影指摘。結核として治療。3年後のCTで右胸郭伸展する胸腺腫あり手術施行。後にMGを発症。19歳女性、健診で縦隔陰影指摘。CTで前縦隔に3cmの腫瘤あり。経過にて縮小傾向示す。

7. thymolipomaの1例

慶應義塾大学医学部附属病院・放射線診断科

城石 大, 中野敬子, 屋代英樹, 井上征雄, 陣崎雅弘, 栗林幸夫

要旨：症例は20歳代男性。CTにて前縦隔に脂肪濃度を主体とし、索状の軟部濃度構造物を有す腫瘍が認められた。摘出術を施行され、比較的稀なthymolipomaと診断された。文献的考察を加え報告する。

8. 多房性嚢胞を呈した縦隔原発精上皮腫の1例

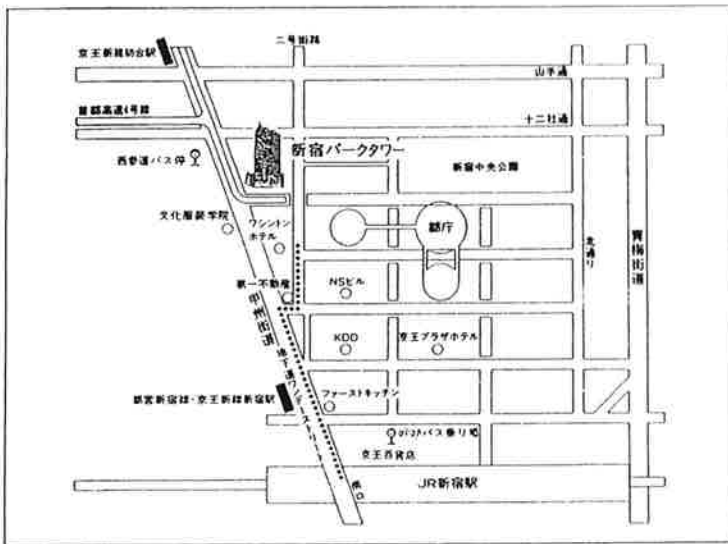
国立がんセンター中央病院・放射線診断部 同・呼吸器外科¹⁾ 同・呼吸器内科²⁾ 同・病理³⁾

楠本昌彦, 立石宇貴秀, 荒井保明, 鈴木健司¹⁾, 山田一彦²⁾, 薦 幸治³⁾, 松野吉宏³⁾

要旨: 29歳男性。胸部CTで前縦隔に大きさ約7×3 cm大の腫瘤を認め、内部には多房性の嚢胞成分がみられた。CTガイド下に経皮的針生検後、悪性前縦隔腫瘍の診断で腫瘍摘出術を行った。病理診断は縦隔原発精上皮腫であった。

◆◆ 研究会終了後、意見交換会を開催いたします ◆◆

新宿パークタワーへのアクセスのご案内



●所在地/東京都新宿区西新宿三丁目7番1号

●電車 = JR新宿駅南口から徒歩12分

(都営新宿線・京王新線新宿駅から10分、京王新線初台駅より8分)

*この他に、京王線・小田急線・丸の内線・都営新宿線・西武新宿線がご利用いただけます

*JR新宿駅南口、都営新宿線・京王新線新宿駅から都庁方面に地下道「ワンデーストリート」を通り、ワシントンホテル出口から地上に出られると便利です

*バスをご利用の場合は西口京王百貨店前①②番乗り場からご乗車の上「西参道」でお降りください

①番: 「新宿循環」(京王バス) ②番: 「新宿車庫」行き(都営バス)

●自動車 = 首都高速道路新宿ランプから1分

●JR新宿駅南口から初台方面に徒歩12分(甲州街道沿い)

●OZONEバス(無料)西口エルタワー前より約10分間隔で運行中(10:10~18:50)

hexabrix®

ONLY ONE!

薬価収載 指定医薬品 **ヘキサブリックス®320**

イオン性低浸透性尿毒症・血管造影剤/イオキシグル酸注射液

●警告、効能・効果、用法・用量、使用上の注意は製品添付文書をご参照下さい。

●警告、使用上の注意の改訂に十分ご留意下さい。

製造発売元 資料請求先
栄研化学株式会社
東京都文京区本郷1丁目33番8号

販売元 資料請求先
田辺製薬株式会社
大阪市中央区道修町3丁目2番10号

提携先
ゲルペ社
オールナー (フランス)

1999年3月作成